

令和2年度
中学2年 学年末テスト
社会（地理・歴史）

2月17日（水） 第1校時間 実施

注意事項

- ・問題は〔1〕～〔5〕まで5ページある。
- ・解答は、問題用紙とは別の解答用紙に記入すること。
- ・はっきりとわかりやすい字で書くこと。
- ・解答欄外へはみ出してもよいが、できる限り枠内に収めること。
- ・誤字、脱字は減点対象となるので、注意すること。
- ・必要以上にひらがな表記にしないこと。

2年	組	番	名前
----	---	---	----

[1] 以下の設問に答えよ。

(1) 以下の文章を読み、(1)～(3)に適語を入れなさい。

(ア)農業はその地域の自然環境の特色に合わせて行われることが多い。九州北部や南四国では、温暖な気候を生かして野菜の出荷時期を早める(1)が行われている。また、(イ)九州南部では保水性の低い台地でかんがい農業が行われたり、温暖で降水量が少ない瀬戸内ではかんきつ類などの果樹栽培が行われたりしている。

工業では、その地域ごとの地形や、これまでの歴史の中で積み重ねられてきた特色が表れている。九州の北部では、明治時代に設立された官営の(2)を起点に鉄鋼業を中心として発展してきた。また瀬戸内海沿岸部では、かつては塩づくりのための塩田として利用されていた遠浅の海を埋め立て、石油化学コンビナートを作ることで石油化学工業が盛んになった。

様々な形で発展を遂げてきた九州地方や中国・四国地方であるが、山間や離島の地域は少子高齢化の進行によって地域社会の維持が困難になる(3)が早くから問題になっており、(ウ)様々な地域おこしが考えられている。

(2) 下線部(ア)とあるが、下の資料は、地図のA～Cの県の農業産出額にしめる畜産、米、野菜の産出額の割合を示している。資料について、P～Rにあてはまるのは、畜産、米、野菜のどれか、書きなさい。



(3) 下線部(イ)とあるが、九州のこの台地は山の噴出物によって形成されたものである。同じように火山の噴出物で形成された地層が関東地方にもあるが、こちらは保水性が高く、野菜などの近郊農業が行われている。九州の台地と関東の地層、それぞれの名前を書きなさい。

(4) 下線部(ウ)とあるが、地域おこしの例として、特産物を使った商品開発、観光のPR、祭りなどのイベント企画、などが挙げられます。あなたが知っている地域おこしとそれが行われている地域名を書きなさい。取り上げる地域は、日本国内であればどこでもかまいません。

[2] 以下の設問に答えよ。

(1) 以下の文章を読み、(1)～(3)に適語を入れなさい。

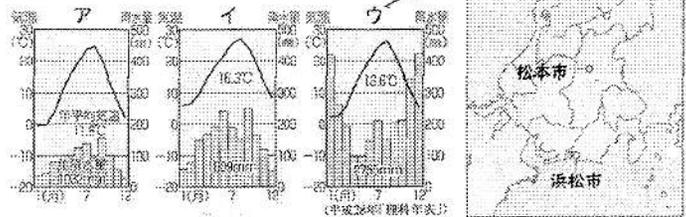
(ア)近畿地方は、かつては都がおかれ、日本の政治・経済の中心として発展してきた長い歴史を持つ地域である。そのため、京都や奈良の神社や寺などの中には歴史的に重要な文化財としてユネスコの(1)に登録されているものも多い。また大阪は江戸時代には「天下の台所」と呼ばれ、現在でも商業の中心地として栄えている。

(イ)中部地方は、その地形に特色がある。中央部には日本アルプスと呼ばれる3000m級の山々が立ち並ぶ山脈があり、気候の違いをもたらしたり、文化的な交流を妨げてきたりした。工業の面では、太平洋側には機械工業を中心とする中京工業地帯や東海工業地域が発展した。日本海側には、冬の間農家の副業を始まりとした(2)が発展し、メガネのフレームや金属加工が主体となった。

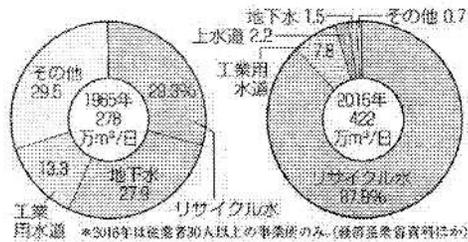
しかし、いずれの地方でも(ウ)地域の経済発展が進むにつれ、環境問題も表面化してしまった。近畿地方では、滋賀県にある日本最大の湖である(3)の水質汚染や、四日市市の大気汚染が大きな問題となり、今日まで環境の回復と保全に向けて努力がなされている。

(2) 下線部(ア)とあるが、現代の日本においては政治・経済の中心都市を「都(みやこ)」とは呼ばず、また場所も近畿地方ではなくなっている。現代の日本の政治・経済の中心都市は何と呼ばれ、どの都道府県にあるのか書きなさい(完答)

(3) 下線部(イ)とあるが、中部地方はこの特色ある地形が影響して、地域ごとの気候にも大きな違いがみられる。以下の地図に示した上越市、松本市、浜松市の雨温図をア～ウの中から選び、記号を書きなさい。



(4) 下線部(ウ)とあるが、同様の環境問題は近畿地方最大の都市である大阪府でも発生している。右の資料は、大阪府の工業用水の水源の変化を示したものである。最も割合が減少している水資源を一つ選びなさい。また、なぜその水源が減少しているのか、1970年代に起こった公害と関連づけて書きなさい。



[3] 以下の設問に答えよ。

(1) 以下の文章を読み、(1)～(3)に適語を入れなさい。

17世紀に入ってからヨーロッパでは、中世以来の王権的な支配に異を唱える(ア)近代革命の動きが出てきた。イギリスでは国王と議会が対立したことによりピューリタン革命と(1)が起こり、世界初の立憲君主制と議会政治がスタートした。またアメリカではイギリスの植民地支配からの独立を求めて戦争が起こり、(2宣言)が出され、アメリカ合衆国が誕生した。さらにフランスでは、平民の身分の人々を中心にしたフランス革命が起こり、(3宣言)が出された。最終的には国王が処刑される事態となった。

この時代は政治制度だけでなく、科学技術も大きく進歩した時代でもあった。(イ)イギリスではある動力機関の改良から、工業生産が一気に発達し、様々な製品が世界中に輸出されるようになった。同時に、資本家と労働者と呼ばれる身分が誕生し、経済・社会の仕組みも大きく変化していった。

(2) 下線部(ア)とあるが、以下の資料は、この動きに影響を与えた思想家たちを示したものである。()にあてはまる人物名を書きなさい。

顔			
名前	(A)	(B)	(C)
国	イギリス	イギリス	フランス
実績	著書『統治二論』 社会契約説と抵抗権を唱える。	著書『法の精神』 三権分立を説いた。	著書『社会契約論』 人民主権を主張した。

(3) 下線部(イ)とあるが、この時に改良された動力機関とは何か書きなさい。また、この改良によって起こった経済・社会の大きな変化のことを何と呼ぶか書きなさい。

(4) (3)で大きく発展したイギリスはその後、貿易相手(植民地)を求めてアジア方面に進出してきた。その際、19世紀にイギリスとインドの間で起きた出来事について、下のA～Dのカードを古い年代順に並べかえ、記号を書きなさい。(完答)

A イギリスの支配に不満を抱えた人々が、インド大反乱を起こした

B 産業革命が始まったイギリスから、大量の綿織物がインドへ流入した。

C インドの帝国が滅亡し、イギリス政府により直接植民地支配を受けた。

D インド産綿織物の需要が高まったイギリスへ綿織物を大量に輸出した。

[4] 以下の設問に答えよ。

(1) 以下の文章を読み、(1)～(3)に適語を入れなさい。

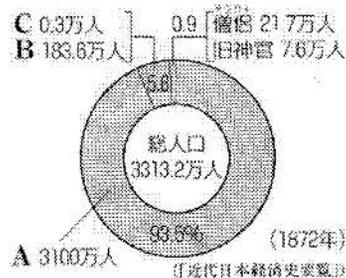
19世紀に入り、それまで鎖国していた日本はアメリカと条約を結び、ついに開国した。その後、大老井伊直弼は朝廷の許可を得ないまま再びアメリカと条約を結び、(ア)日本は倒幕への動きを加速させていくことになる。そして1867年、第15代将軍徳川慶喜は、(1)を行い、江戸時代は終わりを告げるようになった。

それに代わって日本は、天皇を中心とする近代国家づくりに向かって進んでいく。この幕末からの一連の政治・経済・社会の変化の動きを(2)と呼ぶ。政治面での主な改革は、天皇への権限の集中化や(イ)身分制度の廃止、教育制度や徴兵制度、税制など幅広く行われた。

国内の改革が進む一方で、外国との関係づくりには大きな壁を抱えていた。近代的な国際関係を結ぶために、岩倉具視らが使節として欧米諸国を訪れたが、(ウ)幕末に結ばれた不平等条約の改正は難航した。条約の改正が実現したのは、日本が(3 憲法)や内閣制度、帝国議会を作り、欧米列強との戦争の時代へと移っていく直前の19世紀の末頃のことであった。

(2) 下線部(ア)とあるが、この討幕運動の元にあった思想が「尊王」と「攘夷」という2つの思想である。それぞれについて、どのような思想・考えであったか説明しなさい。

(3) 下線部イとあるが、右の資料は明治時代(1872年)の人口の割合を示した円グラフである。A～Cに当てはまる人々の名称を以下の語群から選んで書きなさい。



(ヒント)

- Aは、人口の9割以上を占めていた。
- Bは、江戸時代には帯刀を許された特権階級だった。
- Cは、大名や朝廷との関わりがある人々だった。

【語群】

- 武士 町民 士族 貴族
- 農民 平民 華族 王族

(4) (3 憲法)は、初代内閣総理大臣の伊藤博文がその作成にかかわっていた。その作成に当たっては、ドイツのプロイセン憲法を参考にしていたとされている。2つの憲法はどのような点が共通しているか、資料から読み取って書きなさい。

資料 (3 憲法) (部分)

第1条 大日本帝國ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス

第5条 天皇ハ帝國議會ノ協賛ヲ以テ立法權ヲ行フ

第11条 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス

第13条 天皇ハ親ヲ尊シ和ヲ濟シ及諸般ノ事務ヲ統轄ス

資料 ドイツ(プロイセン)憲法 (部分)

第11条 皇帝は宣戦の宣告および和平の締結、対外代表、条約及び同盟の締結、大使の授受の権利を有す。

第17条 皇帝は法令の公布権を有する。

第18条 皇帝は官吏任免権を有する。

[5] 以下の設問に答えよ。

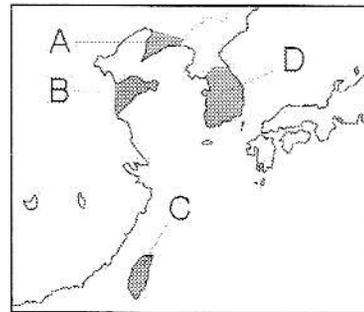
(1) 以下の文章を読み、(1)～(3)に適語を入れなさい。

19世紀後半から欧米列強は資本主義を強め、世界中に植民地支配を拡大していった。日本は、列強からの侵略の脅威にさらされながらも、国の近代化と富国強兵の政策を進め、自らも朝鮮半島を植民地として支配することを目指していった。

1894年に朝鮮半島で農民が反乱起こすと、その鎮圧のために清が軍隊を派遣した。日本もそれに対抗して軍隊を派遣すると、清軍と日本軍の間で衝突が起き、(1)へ発展していった。この戦争に日本は勝利し、(ア)多額の賠償金と遼東半島や台湾などの土地の支配権を得たが、外国からの圧力を受けて土地は返還することになった。

日本は、東アジアへの進出を狙うロシアとの対立を深めていった。その中で、同じくロシアと対立していた(イ)イギリスと手を組み、1902年に(2)を結んだ。その後の1904年、(ウ)日本はロシアと日露戦争を起こした。この戦争で勝利した日本は、列強として国際的な地位を固めるとともに、1910年には朝鮮半島を植民地化する(3)を行った。

(2) 下線部(ア)とあるが、この内容について定められた講和条約を何というか。また、右の地図のA～Dの中から遼東半島と台湾の位置として正しいものを記号で書きなさい。(位置については完答)



(3) 下線部(イ)とあるが、イギリスが日本と同盟を結んだのはなぜか、「軍事力」という言葉を使って書きなさい。

(4) 下線部(ウ)とあるが、この戦争で結ばれた講和条約を何というか。また、この条約の内容について、日本国内では「日比谷焼き討ち事件」など、政府に対する暴動が起きたが、それはなぜか、書きなさい。